

100年先も豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト



1. プロジェクトの背景と目的

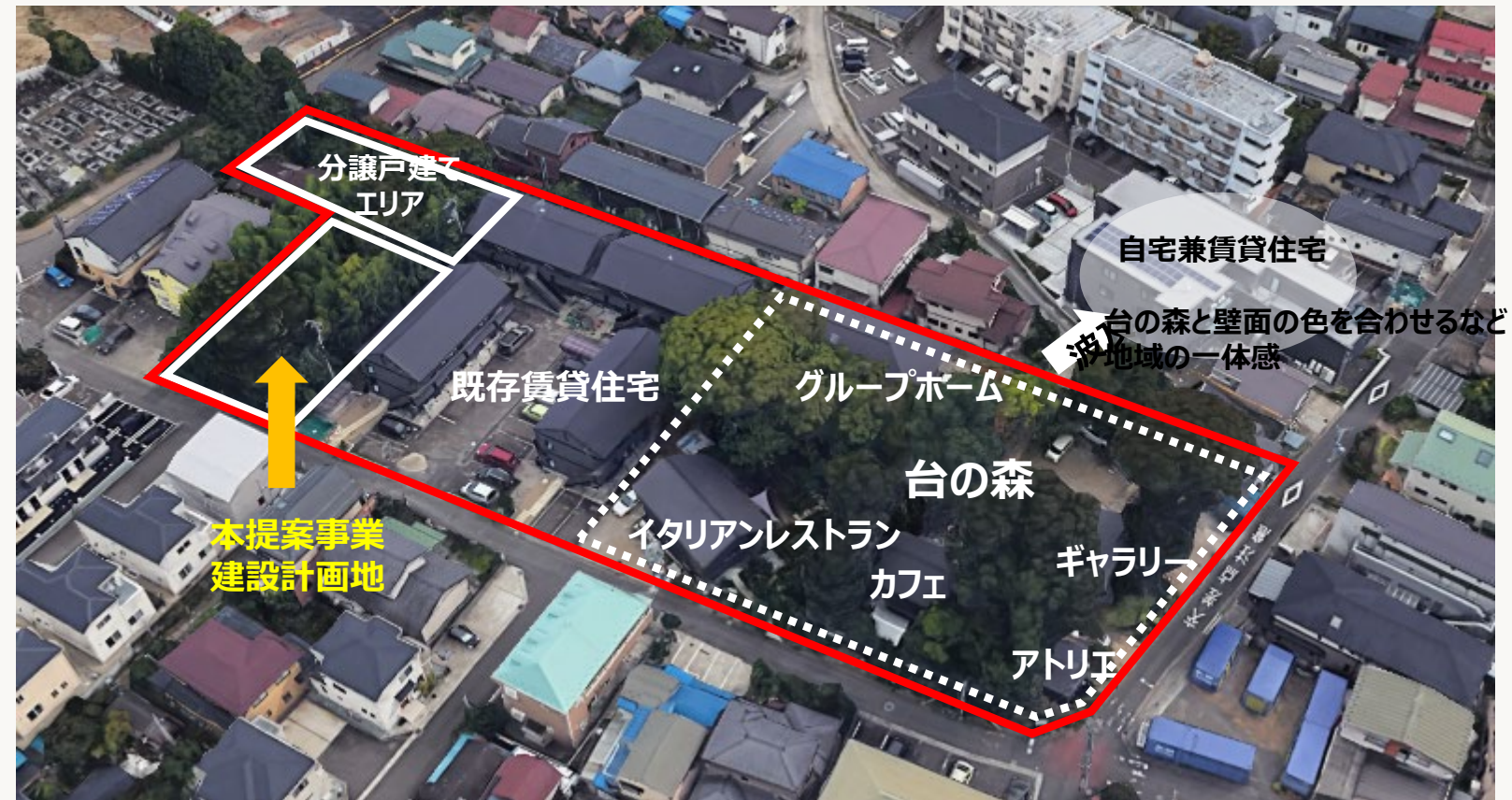
地域の現状と課題

- 仙台市青葉区台原六丁目の**高齢化率**は**21.73%**
- 世帯構成員数は**1.74人**
- **交流を促す資源が乏しい地域**



プロジェクトの目的

- 障がい者や高齢者が地域と自然に接点を持ちながら暮らせる**環境の創出**
- 多世代が“**リアルに交流**”できる 地域複合**拠点の成長と発展**
- 100年先も豊かに暮らせる 持続可能な地域づくりの実現



2. 「台の森」の成功と新たな課題



「台の森」の概要と成果

- 2020年に開設した**多世代交流の地域複合拠点**
- 陶芸工房、カフェ、ギャラリー、レストラン、**障が者グループホームが共存**
- 住宅街でありながら、1日あたり約100人以上が訪れる人気スポットに**成長**



2. 「台の森」の成功と新たな課題

新たに浮かび上がった課題（高齢化への対応）

- 障がい者や高齢者が地域と自然に接点を持てる住まいが不足
- 障がい者は“介護保険適用時”に地域とのつながりが断絶してしまう
- 協働・協力を深める機会を増やし、役割や生きがいを創出する場所や仕組みが必要



3.本提案事業の具体的内容



多様な住まいの整備

- 障がい者グループホームの新設
- **サテライト型グループホーム**の設置
- 見守り付き賃貸住宅の提供

リアルな交流のスペース拡充

- アクティビティやイベントスペースの整備
- キッチンやスタジオなどの設備の充実

環境に配慮した設計

- 歴史的**地域資源**である屋敷林の保全と活用
- 自然素材を活用し、**ゼロ次予防に資する**内装
- オープンな設計による自然なつながりの創出

台の森

既存賃貸住宅

本提案建設
計畫地

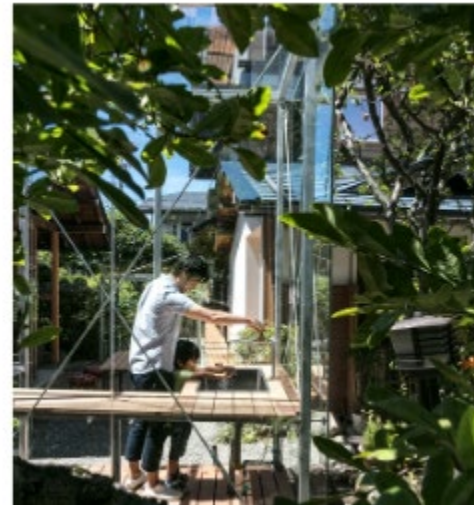
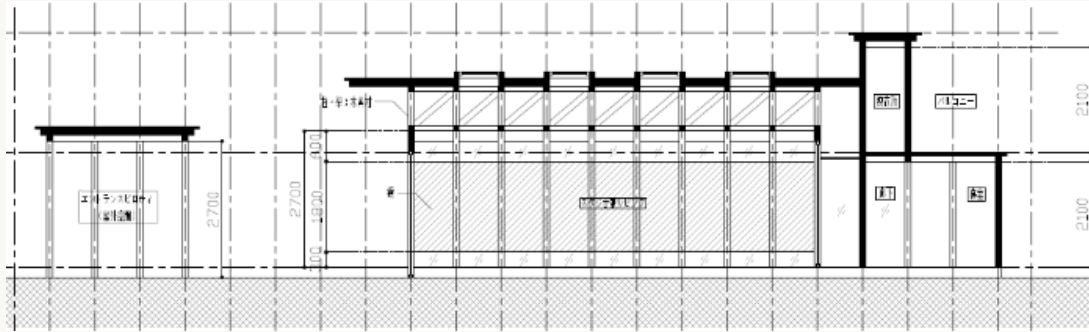
障がい者グループホーム

交流棟

リノベ
サテライト

3.本提案事業の具体的内容

課題へのアプローチ（交流棟）



自然と建築

- ・3つのデザイン
- ・都市に自然をつくる
- ・自然と人工物の新しいバランスを形にする
- ・「空間」ではなく「環境」を目指す



プロジェクトの特徴と先導性



1

「ごちゃまぜ」の実現

- 障がい者、高齢者、子育て世帯など多様な人々のリアルな交流
- 自然、文化、身体性をテーマにしたワークショップの開催

2

継続的な地域とのつながり

- 障がい者福祉から高齢者福祉への移行をサポート
- 地域住民との協働による運営

3

先進的な住まいのモデル

- 多様なニーズに応じた住まいの選択肢の提供
- 地域全体で障がい者を支え合う環境の整備



期待される効果と今後の展開



1

地域への波及効果

- 孤立・孤独の解消
- 地域全体の住環境の向上（成長モデルへ）
- 子育て世帯の暮らしやすさ向上

2

事業の継続性と普及可能性

- 安定した家賃収入による持続可能な運営
- 他地域への普及モデルとしての可能性

3

評価と改善の仕組み

- 来訪者数や入居期間などの定量的評価
- 地域住民との対話を通じた継続的な改善

